SII Log Setting Utility for Windows
取扱説明書

Rev.02

［対象製品］

SLP800シリーズ

MP-B21Lシリーズ

MP-B30Lシリーズ

MP-B30シリーズ

MP-B20シリーズ

MP-A40シリーズ

RP-F10シリーズ

RP-G10シリーズ

RP-E10シリーズ

CAP06シリーズ

セイコーインスツル株式会社

Rev.01　2024年 11月
Rev.02　2025年 12月

©セイコーインスツル株式会社　2024-2025
無断転載を禁じます。
本書の内容は、断りなく変更することがあります。
本書及び本書に記載された製品の利用によって発生した
損害及びその回復に要する費用に対し、当社は一切の責任を負いかねます。
この取扱説明書を第三者に無断で頒布することを禁じます。
Microsoft®及びWindows®は米国Microsoft Corporationの米国、日本及びその他の国における登録商標です。

はじめに

本書は、セイコーインスツル株式会社（以降：SII）が提供する「SII Log Setting Utility for Windows」（以降：本ソフトウェア）について説明します。

本書の表記

本書の表記について説明します。

操作と表示

本書は原則、下記の条件に基づき記載します。

- Windows 11の画面及び表示構成
- マウス及びキーボードによる操作方法

用語一覧

本書で使用する用語について下記の通りに定義します。

用語	内容
プリンタードライバー	SII Printer Driver for Windows
プリンターフォルダー	下記の操作により表示されるフォルダー [コントロールパネル]⇒[ハードウェアとサウンド]⇒[デバイスとプリンター]の順に選択し、表示される[デバイスとプリンター]フォルダー

1章　概要　1-1
1.1　対象製品　1-1

2章　インストール　2-1

3章　操作方法　3-1
3.1　画面構成　3-1
3.1.1　ログ設定画面　3-2
3.1.2　設定ボタン　3-3
3.2　機能　3-4
3.2.1　ログ出力の設定方法　3-4
3.3　ログファイルのフォーマット　3-5

1章　概要

本章では本ソフトウェアの概要について説明します。

本ソフトウェアは、対象製品のログ出力を設定するためのソフトウェアです。

1.1 対象製品

本ソフトウェアの対象製品について記載します。

プリンター	ソフトウェア
SLP800シリーズ MP-B21Lシリーズ MP-B30Lシリーズ MP-B30シリーズ MP-B20シリーズ MP-A40シリーズ RP-F10シリーズ RP-G10シリーズ RP-E10シリーズ CAP06シリーズ	・SII Printer Driver for Windows ・SII SDK for Windows ・SII Printer Setting Utility for Windows

2章　インストール

インストールについては、「SII ソフトウェアパッケージ for Windows インストールガイド」を参照してください。

3章　操作方法

本章では本ソフトウェアの設定画面について説明します。

3.1 画面構成

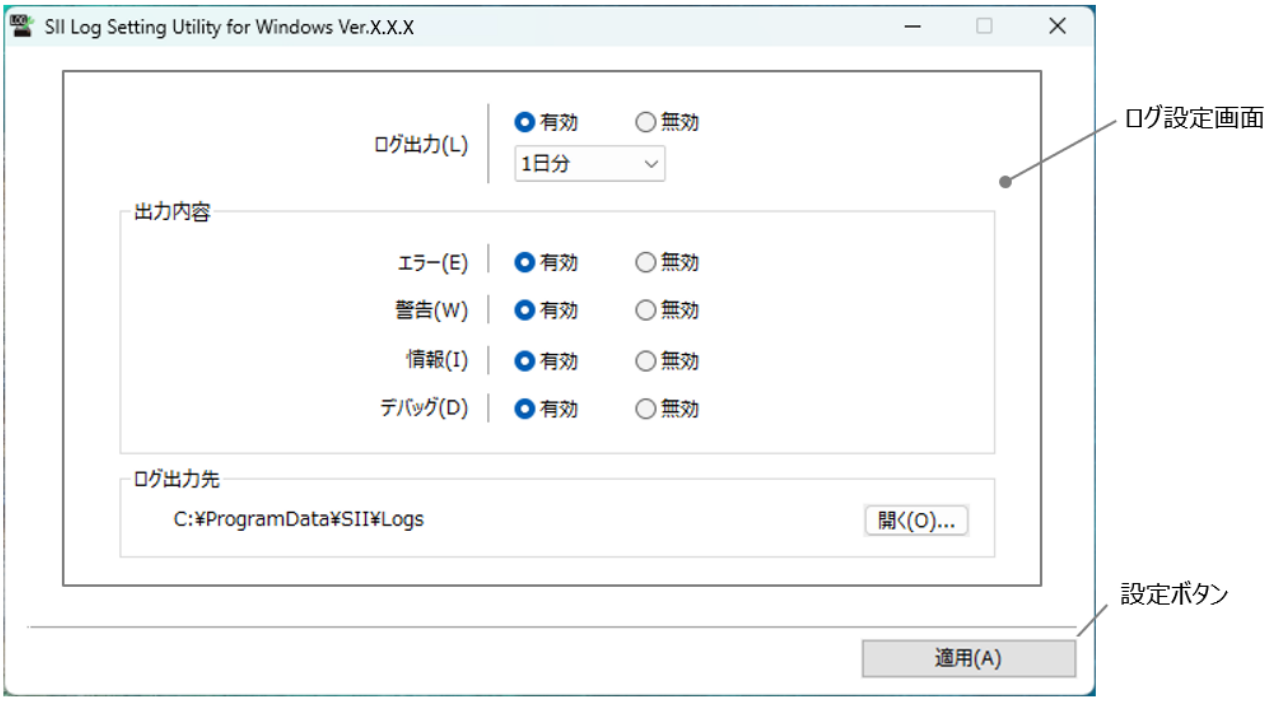


図 3-1 ［ログ］画面

3.1.1 ログ設定画面

名称	説明（″　″:初期値）
ログ出力(L)	ログ出力を選択します。 ・有効 ・無効 「有効」を選択した場合は、保存期間を選択します。 ・ 1日分 ・ 3日分 ・10日分 ・30日分 ・90日分 出力されたログは、その時点でログ出力の有効/無効の選択に関わらず保存期間が過ぎると消去されます。 実際の保存期間は、最大一日分長くなる可能性があります。 ただし、「1.1 対象製品」に記載のソフトウェアが動作しない間、出力されたログは消去されません。 ログファイルの最大サイズは約32MBです。最大サイズを超えた場合は、新たなログファイルが生成され、保存期間まで保存されます。
出力内容※1	ログ出力の出力レベルについて設定します。
エラー(E)	エラーレベルのログを出力するか選択します。 「有効」を選択した場合は、処理が継続できないエラーを検出した場合にログを出力します。 ・有効 ・無効
警告(W)	警告レベルのログを出力するか選択します。 「有効」を選択した場合は、処理は継続できる範囲のエラーを検出した場合にログを出力します。 ・有効 ・無効
情報(I)	情報レベルのログを出力するか選択します。 「有効」を選択した場合は、基本動作の履歴などをログで出力します。 ・有効 ・無効
デバッグ(D)	情報レベルより詳細なデバッグ情報をログで出力するか選択します。 「有効」を選択した場合は、情報(I)よりさらに詳しい動作の履歴をダンプログとしてログで出力します。 ・有効 ・無効 ダンプログの最大サイズは256バイトです。最大サイズを越えた場合は、それ以降のダンプログは出力されません。

名称	説明（"　"：初期値）
ログ出力先	ログの出力先を表示します。 ログの出力先、及びファイル名は下記の通りです。 出力先： <システムドライブ>:¥ProgramData¥SII¥Logs¥<カテゴリ名> ファイル名： <yyyyMMdd>.log ただし、ログファイルが最大サイズを超えた場合は、ファイル名を<yyyyMMdd_hhmmss(fff)>.logに変更し、新たに<yyyyMMdd>.logを作成します。※2
開く(O)...	各カテゴリのログファイルが格納されるルートフォルダが開きます。 出力先の変更はできません。

※1： [ログ出力(L)]が「無効」の場合は、操作できません。

※2： ファイル名に使用される記号の意味を下記に説明します。各値はWindowsのシステムクロックに由来します。

yyyy ： 年
MM ： 月
dd ： 日
hh ： 時
mm ： 分
ss ： 秒
fff ： ミリ秒

3.1.2 設定ボタン

名称	説明
適用(A)	ログの出力内容を確定し、ログ出力を開始します。

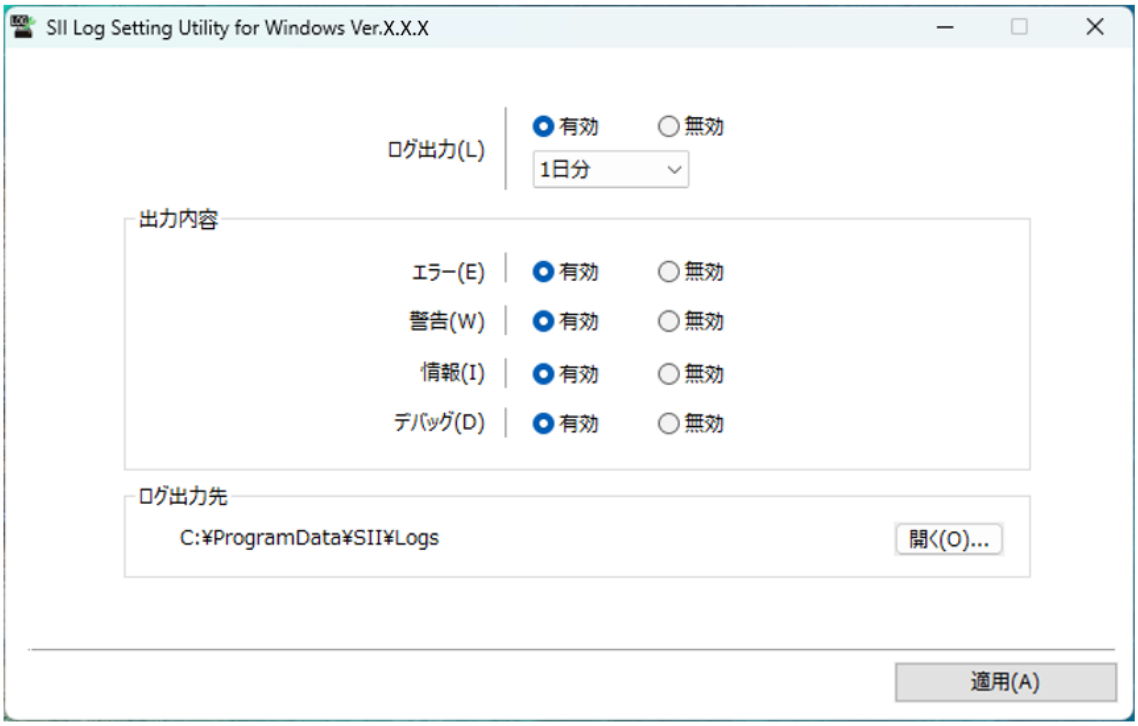
3.2 機能

本ソフトウェアの機能について説明します。

3.2.1 ログ出力の設定方法

ログ出力の設定方法について説明します。

1. 本ソフトウェアを起動し、下記の画面を表示してください。
2. [ログ出力(L)]で「有効」を選択し、保存期間を選択してください。
3. [出力内容]の各項目を選択してください。
4. [適用(A)]ボタンをクリックしてください。
5. タイトルバーの × [閉じる]ボタンをクリックし、本ソフトウェアを終了してください。



注意

◆ログ出力の[適用(A)]にはコンピューターの管理者権限が必要です。
◆ログ出力を有効にした場合はプリンタードライバー及びSDKの動作が重くなる恐れがありますので、不要なログ出力は避けてください。
◆ログファイルを開いた状態にしておくと、ログ出力ができない可能性があります。

3.3 ログファイルのフォーマット

ログファイルのフォーマットを説明します。
ログは1行ごとにログファイルに記録され、下記の意味を持ちます。

[MM/dd hh:mm(ss.fff)]　[Process info]　[Lv] [Module]　Message

名称	説明
ログ出力の時間 [MM/dd hh:mm(ss.fff)]	ログ出力の時間が記録されます。 記号の意味は下記の通りです。 MM　:　月 dd　:　日 hh　:　時 mm　:　分 ss　:　秒 fff　:　ミリ秒
プロセス情報 [Process info]	プロセス情報が記録されます。
ログのレベル [Lv]	ログのレベルが記録されます。 記号の意味は下記の通りです。 E　:　エラー W　:　警告 I　:　情報 D　:　デバック
モジュール識別名 [Module]	モジュール識別名が記録されます。
メッセージ Message	メッセージが記録されます。